

## 意見の要旨とそれに対する宇治市の考え方

資料1

### 【①計画全般に関するご意見】

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
1	施策方針において「検討します」「努めます」「推進します」「促進します」という言葉が多様されておりわかりづらい。「市民の取組」、「事業者の取組」の「努めます」、「検討します」の違いがわからないので、言葉遣いを総点検してほしい。少なくとも宇治市の計画であるので、「市の取組」で「検討します」というのは計画になじまない表現ではないか。	いただいたご意見を踏まえ、「検討します」「努めます」などの表現につきましては、改めて見直し、分かりやすく修正します。(P39他)	有
2	環境という言葉はそれぞれ解釈が異なり、地球温暖化防止も目に見えないので難しいが、他人ごととして関心を示さないのではなく「自分ごと」として、まずは市職員一人ひとりが取り組むよう、市長にお願いしたい。市民に協力を求めるのは当たり前なので遠慮せず訴えて欲しい。	地球温暖化対策については、一人ひとりが自分の事として取り組むことも重要であると考えておりますので、市・市職員自らが率先して、地球温暖化防止対策に取り組んでまいります。	無
3	市や市民、事業者の取組がない項目にバイオプラスチックや宇治市の鳥などのコラム欄があるが、掲載の位置付けがわからないので、削除したほうがよいのではないか。	バイオプラスチックや宇治市の鳥などのコラムについては、具体的な取組の記載の有無に関わらず、本計画に関連するものとして記載しております。	無
4	P38 災害写真を見て、南部豪雨を思い出した。気候変動に対応する施策推進のためにも災害に強い宇治市の街づくりを後押しする計画となるよう期待する。テンポを早く、実行力のある計画となるようお願いしたい。	P58から65に記載のとおり、気候変動への対応は今後ますます重要になると考えており、実行力のある計画となるよう取り組んでまいります。	無
5	広く市民との協議、議会での十分な審議を求める。	貴重なご意見として承ります。	無
6	障害者計画のみ「ふりがな」が付し、優しい日本語で当該用紙等が記載されている。一方、本計画は「ゴミ問題」等基本的事項に関わっていること。また、本計画に記載のSDGsの3の「全ての人に健康と福祉を」の概念に従い、宇治市の全パブコメについて、障害者等にも配慮した情報提供を実施すること。	やさしい日本語の活用につきましては、障害者や外国語を母語とする方等への情報提供の際の有効な手段であると認識しております。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	無
7	環境に関わる問題は、行政の一部門だけで解決できる問題ではなく、ごみ問題、交通、住宅、光熱水道、食・衛生、自然・森林・河川などの部門が連携して取り組む喫緊の問題である。横断的に連携するよう市長がリーダーシップを発揮してほしい。	P91に記載のとおり、市長を本部長とする環境管理推進本部をトップに、全ての部署が横断的に取組を推進する体制を構築しております。今後も、市長のリーダーシップのもと市全体で取り組んでまいります。	無
8	市長が先頭に立ち、亀岡市のように何か大きく具体的なアドバラン上げ、市民をやる気にさせてほしい。	市長のリーダーシップのもと、着実に取り組んでまいります。	無

### 【②持続可能な脱炭素社会の推進に関するご意見】

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
9	再生可能エネルギーの利用促進について「市民の取組」「事業者の取組」に、「太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に努めます」と記載するだけでなく、何らかのインセンティブや仕組みが必要ではないか。	いただいたご意見につきましては、今後の具体的な取組の中で実施してまいります。	無

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
10	省エネ電力について、市の補助など具体的なものがないように思う。太陽光パネル設置に関しての補助金を拡充してほしい。	宇治市では、太陽光発電設備設置に関する補助及びZEH導入に関する補助を行っております。いただいたご意見につきましては、今後の具体的な取組の中で実施してまいります。	無
11	戸建住宅やその他の建物において太陽光発電のポテンシャルは高いので、市民に対して、設備の設置を積極的にアピールすべき。	資21に記載のとおり、太陽光については、市域の再生可能エネルギーの中で、最も大きな可能性を有しているため、今後も太陽光発電の啓発に努めてまいります。	無
12	P 32 再生可能エネルギー導入目標として2030年と2050年の数値が書かれているがピンとこない。太陽が丘や植物公園などで再生可能エネルギーの設置は可能だと思うし、府や市の取組みの象徴になるのではないか。	公共施設への再生可能エネルギーの導入については、市自らが率先して取り組んでまいります。	無
13	黄檗体育館の屋根は太陽光設置に適しているのではと尋ねたら、屋根の耐久力がなく、設置できないとのことだった。近年太陽光パネルが進化し、ペロブスカイト太陽電池など薄くて軽いものが出現し、重いという前提が無くなっている。ぜひ、再検討願いたい。既存の公共施設の建物すべてに適用できる。	ペロブスカイト太陽電池などの次世代太陽電池につきましては、情報収集や情報提供を行うとともに、市の公共施設においても導入を検討してまいります。	無
14	太陽光の利用で電気は作れるが高額である。太陽熱の利用は低額でお湯が効率よく作れるので、太陽熱利用の啓蒙を行ってほしい。	資21に記載のとおり、太陽熱については、市域の再生可能エネルギーの中で、大きな可能性を有しているため、太陽熱利用の啓発に努めてまいります。	無
15	エネルギーの地産地消について、どのように取り組んでいくのか、姿が見えて来ない。	P42に記載しております市民への各種補助やPPA事業、次世代型太陽電池などの情報提供を行うことにより、市域での導入促進を図ってまいります。また、P39記載の地域新電力等につきましては、今後、検討してまいります。	無
16	東宇治浄化センターを見学した際、最終の放流口は落差3m程度で放流量が毎秒0.5トンだったと思う。ここに水力発電設備を設置すると発電量は $P=mgh=0.5 \times 9.8 \times 3 = 14.7\text{kw}$ となり、効率が0.8と仮定して最終出力は約12kwとなる。ここは汚泥の乾燥に膨大な電力を必要としており、自家消費すれば電力代が節約できるだけでなく火力などで発電されたものと異なり、クリーンな電力使用となり、市民へのアピールになる。	東宇治浄化センターの施設運営においては、大きな電力を必要としており、脱炭素化に取り組む必要があります。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	無
17	下水熱と地下熱の利用 下水は年間通じて20℃と聞いた。この熱をヒートポンプで回収して熱電供給や空調利用ができると考える。大阪市ではN E D Oと取組み全市調査も行っているようである。宇治市においても脱炭素の観点から取り組むことを提案する。宇治市の潜在エネルギーで最大は地下熱とのこと。宇治には地熱エネルギーの地産地消の観点から地熱利用が考えられる。	資21に記載のとおり、地下熱については、市域の再生可能エネルギー（熱）の中で最も大きな可能性を有しているため、今後も地下熱の活用について検討してまいります。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	無

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
18	豊富な水量に恵まれている宇治川に小水力発電の見込みがないというのは残念。歴史公園や天ヶ瀬の公園計画などで小水力発電を取り入れる余地はないのか。宇治市に適した再生可能エネルギーが何であるかをecoつ宇治の1グループだけでなく、市、市民、事業所の協働体制の中で考えていくべき。	資21に記載のとおり、宇治市では中小水力の導入ポテンシャルはほぼないとされています。宇治市の特性に応じた再生可能エネルギーの活用については、今後も検討してまいります。	無
19	これからの新築住宅は、ZEHなどが基準になるが、既存住宅への温暖化対応が遅れている。住宅のリフォーム、特に窓の断熱化は効果が高く、健康に繋がるので、講習会や補助・支援に力を注いでほしい。	住宅の断熱化は効果の高い対策であると考えております。今後も、いただいたご意見を参考に、窓の断熱化に関する講習会等を行ってまいります。	無
20	エネルギー利用の効率化について、「市民の取組」「事業者の取組」で「断熱化」や「高効率給湯器の導入」に対する何らかのインセンティブが必要ではないか。	いただいたご意見を参考に、エネルギー利用の効率化に取り組んでまいります。	無
21	ゼロカーボン化を図ることが脱炭素社会に向けて重要であり、その対策として、市・市民・事業者による省エネ活動の推進と再生可能エネルギーの導入が両輪である。事業活動や市民生活などに使うエネルギー全てを再生可能エネルギーで賄うことは無理であり、2050年にゼロカーボンにすることはできないと予想されている。事業者や一般市民の方が、さらに大幅な省エネに取り組む工夫も重要である。計画の中で、有効なものは何か、もっと具体的な対策事例を示してほしい。	P53～P55に対策事例及び二酸化炭素削減量をそれぞれ掲載しております。その他、ZEHや断熱に関するコラムを事例として掲載しております。いただいたご意見を参考に、今後も具体的な対策事例等の情報発信を行ってまいります。	無
22	省エネ統一ラベルは、家電製品の買替え時に省エネ効果が大きく電気代の減少に繋がる。また、高効率の温水器（エコキュートやエコジョーズ、エコワンなど）についても同様のことが言える。これらをコラム欄に取り上げてほしい。	ご意見を踏まえ、省エネ統一ラベル及び高効率温水器に関するコラムを掲載します。（P49、50）	有
23	温室効果ガスの排出量の算定予測の考え方について、今後のエネルギーの消費動向から、市の再生可能エネルギー（太陽光メイン）だけでは、難しいとの試算がある。今後の具体的な施策や取組について明確に示してほしい。	ご意見のとおり、太陽光等の再生可能エネルギーだけでなくエネルギー利用の効率化等を図ることが重要であると考えております。具体的にはP45に記載のとおり、建物の断熱性の向上、高効率設備等の導入、電気自動車等の普及などを進めてまいります。	無
24	P45 市民及び事業者の取組に「ヒートポンプ給湯器などの普及」の記載があるが、国の地球温暖化対策計画には、高効率な省エネルギー機器の普及（家庭部門）においてヒートポンプ給湯器以外に、潜熱回収型給湯器および家庭用燃料電池の普及が必要であると記載されている。ヒートポンプ式に加えて並列で潜熱回収型給湯器、家庭用燃料電池も記入すべきではないか。	ご意見を踏まえ、ヒートポンプ式に加えて潜熱回収型給湯器、家庭用燃料電池について追記します。（P45）	有
25	施策3の事業者の取組について、国の計画では、省エネルギー性能の高い設備・機器の導入が記載されており、具体的な名称として空調、照明、給湯、工業炉、ボイラー、コージェネレーション設備の導入が記載されている。事業者への理解を深めるため、これらの具体的な名称の記載が必要でないか。	ご意見を踏まえ、省エネルギー性能の高い設備・機器について、具体的な名称を追記します。（P45）	有

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
26	省エネ相談所を公民館単位で行い、エコ・アクション・ポイントを付与し、開催を義務化してほしい。	いただいたご意見を参考にしながら、それぞれの取組を進めてまいります。	無
27	市役所ロビーでの省エネ相談所を積極的に広報してほしい。		
28	省エネ相談窓口を市役所窓口に常設し、具体的な省エネ手法を伝えてはどうか。		
29	市民・事業所などに対しては、省エネ相談所における取組事例の紹介などが有効な手段と考える。現在、宇治市役所で省エネ相談所を月1回程度開催しているが、それ以外の公共施設での開催や、その運営スタッフとして省エネアドバイザーを養成するための支援が必要ではないか。	省エネ相談所における事例紹介等は効果が期待できる取組であると考えておりますので、いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。	無
30	二重窓（内窓）の効果を具体的な例を数字と併せて紹介し、（例：風呂洗い場の室温15℃→内窓設置で25℃）補助金の活用例も併せ市民に費用対効果を示してほしい。	ご意見を踏まえ、断熱窓のコラムを分かりやすく修正します。（P56）	有
31	窓の断熱等級などは専門的で理解するのが難しい内容となっているため、別の記事内容を検討してほしい。		
32	エコファミリーの表彰制度を復活して、家庭での省エネの取組をする気運を盛り上げてはどうか。	いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。	無
33	市でのノーマイカーデーの取組は、現在休止しているようだが、再開の目途はあるのか。	新型コロナウイルス感染症対策の一環として、取組を一時中止しておりましたが、今後、再開を検討してまいります。	無
34	P20 市における現状と課題で、「学校給食での地元産食材の利用を進めることにより配送にかかる温室効果ガスの排出量抑制にも取り組んできた」と記されているが、それなら、なぜ中学校給食センターで作り各中学校に配送することにしたのか。近くの小学校で作って届けるといふくみを環境保全・地球温暖化防止の観点から考えてほしかった。「配送にかかる温室効果ガスの排出量抑制」には取り組んでいないので、この部分は削除すべき。P49「市が率先して省エネルギーに配慮した行動を行う」も矛盾しているので表現を改めてほしい。	P20の記述につきましては、地元産食材を利用することで、他産地の食品を配送してくる場合に比べ排出量を抑制できることに関する記述としており、今後も、市が率先して省エネルギーに配慮した行動を行ってまいります。	無
35	P38 炭山、笠取、平尾台、槇島地区ではバス停などからも距離があり、特に高齢者や障害者などから見て、徒歩では厳しい個所が散見される。昨今、京阪バスの減便もあり、公共交通機関の利用が不便な状況である。宇治市交通政策課等と地域のNPOが共同で視察した愛知県豊明市で実施されている「オンデマンドタクシー（ちよいそこ）」の導入など脱炭素化の観点（SDGs）からも宇治市が交通事業者と共同でDXを活用した環境にやさしい交通手段の導入に取り組むこと。	脱炭素化を進める上で、環境にやさしい交通手段の導入は重要であると考えております。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	無

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
36	温室効果ガス削減に特化した項目について、アンケート結果から意識の高い人・低い人・無関心な人がいることが伺えるが、ターゲットは無関心層であり、その人たちに関心を持たせることが肝心である。意識の高い人の具体的な行動事例を市政だより等で紹介してはどうか。	いただいたご意見を参考に、今後も、具体的な行動事例や市の率先取組等の情報発信を行ってまいります。	無
37	公共施設のLED化について、市が積極的に推進していることを広報等で市民に知らせてほしい。		
38	アンケートでの「関心がある項目」の中で、省エネや環境パートナーシップへの参加が低調であるため、環境活動が生活の向上に繋がることを啓蒙してほしい。		
39	市や市民団体が行っているCO <sub>2</sub> 削減活動をもっと発信し、市の本気度を市民に知らせる必要があるのでは。	いただいたご意見を参考に、今後も、CO <sub>2</sub> の削減に繋がる行動等について情報発信を行ってまいります。	無
40	デコ活の国民運動の内容をもっと広く市民に周知するためのPRや行動指針を示してほしい。	P52にデコ活のコラムを掲載しております。今後は、市の広報誌やHPなどを活用し、デコ活アクション等について、啓発を行ってまいります。	無
41	市の施策の中で、エコ・アクション・ポイントを第1に掲げているが、当初の目標に対して30%程の達成である。今後どのように増やしていくのか具体的な取組事例を示してほしい。	エコ・アクションポイントにつきましては、市広報誌やイベントなどでさらに取組の周知を図ってまいります。	無
42	「脱炭素化」を進めるためには、具体的な施策が必要と考える。例えば交通について「市民の取組」「事業者の取組」で、「公共交通機関の利用に努めます」と記載するだけでなく、何らかのインセンティブが必要ではないか。	いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。	無
43	P 23 主要バス停乗降客数の減少について、不採算路線が廃止されたからと述べているが、そもそも市民が公共交通を利用したくてもバスに替わる公共交通が整備されていないからマイカー依存から抜け出せないのではないか。交通問題でも市の本気度が問われているのでは。	脱炭素化を進めるためには、マイカーから公共交通への利用転換やバス等の公共交通の利用促進が必要であると考えております。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	無
44	資料編について、現在の取組状況（宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画の取組状況）の具体的な取組の記述の仕方に統一性がない。また、対策や施策に関する記述内容から効果の有無が分からず、達成状況、反省点や課題についての内容が見えて来ない。これできちんとPDCAが回っているのか疑問である。	本計画に関する取組状況につきましては、達成状況、反省点、課題が分かるように報告様式の改定などを行い、改善を図ってまいります。	無
45	P52 カーシェアリングにはハラスメント防止対策を入れてはどうか。	貴重なご意見として承ります。	無
46	ecoット宇治に所属している。目次、コラム、用語集など役に立つ内容で、これからの啓発活動に活用したい。市の取組、市民の取組、事業者の取組と各役割の明記、目標値や組織図があるのも良い。目標値がパーセントであるのはわかりにく課題である。	本計画については、広く市民の皆様にご覧いただくことを目的としており、ぜひ、啓発活動にして活用いただきたいと考えております。目標値の表記につきましては、貴重なご意見として承ります。	無

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
47	2030年のマイナス46%削減、2050年のゼロカーボンの目標達成に向けた、産業・業務・家庭・運輸の各分野での削減目標の取組の中で、基本施策での市・市民・事業者の省エネ・再エネについて具体的な対策、数値目標、具体的な効果などを具体的に示してほしい。特に、家庭部門において、電気・ガス・車に関し、どれだけの目標を掲げているのか示してほしい。	個別の目標は設定しておりませんが、P31に記載のとおり部門別のCO <sub>2</sub> 排出削減目標を設定しております。	無
48	「ゼロカーボンシティ」は、「カーボンニュートラルシティ」とした方が適切ではないか。	国と足並みを揃えた施策を展開していくため、国の地球温暖化対策計画に記載されている「ゼロカーボンシティ」に合わせた表記としております。	無
49	P9、P39にGovernanceが出てくるが、( )書きを管理体制又は企業統治どちらかに統一した方がよい。	ご意見を踏まえ、「企業統治」に統一します。(P9)	有
50	P19 ゼロエネルギーハウスは、カーボンニュートラルハウスかカーボンゼロエネルギーハウス、できれば再生可能エネルギーハウスが望ましい。	国と足並みを揃えた施策を展開していくため、国の地球温暖化対策計画に記載されているZEH（ゼロエネルギーハウス）に合わせた表記としております。	無
51	P42 面的利用とはどのような意味か。	ここでいう「面的利用」につきましては、個々の建物ではなく、複数の施設が協力して、全体でエネルギー利用の最適化を図ることを示しております。	無
52	資59 ZEHの説明で、「外皮」という表現に違和感を感じる。	ここでいう「外皮」とは建物の外部と内部を隔てる境界を指し、窓・壁・屋根・床等を示しています。	無

### 【③廃棄物ゼロを目指す循環型社会の推進に関するご意見】

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
53	3R+Renewableについて、ReduceとReuseの2Rの取組が一番重要な施策と考える。市民、特に子どもたちはRecycleが、ごみ削減に大きく寄与すると考えているようなので、もっと積極的に2Rに取り組むように指導や教育をしてほしい。	いただいたご意見につきましては、今後の環境教育の参考とさせていただきます。	無
54	P20、3Rが出てくるが用語の説明がない。	ご意見を踏まえ、用語集に文言を追加します。(資59)	有
55	P25 4Rの推進とあるが、P66に説明があるため、P66を参照と入れてはどうか。	P68に記載の3R+Renewableは4Rの説明とは異なります。	無
56	P64 基本目標2に、SDGsの10を入れてはどうか。	SDGsの表記につきましては、主な推進施策や取組に関連付けて記載しております。	無
57	P4 PFOS、PFOAについて、実態調査とその結果の公開など行政の対策をお願いしたい。	地下水や井戸の水質については、水質汚濁防止法に基づき京都府の所管となっていることから、京都府において適切に対応をされるものと考えております。	無

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
58	P67 プラゴミ削減の観点からレジ袋を活用した現行のゴミ収集は有効と考える。ゴミ削減は緊急の課題であるが、ごみ袋有償化をパブコメの項目で提示する行為自体が、古紙回収の推進、分別収集の推進など今までゴミ削減に関する取り組みや議論を飛ばしている感が否定できない。市民に経済的負担を求める形でなく、京都府下以外の全国の自治体等の事例を示した上で、様々な観点からゴミ袋の有償化を議論すべきである。本計画の「有料ゴミ袋制の検討」との文言を「ごみ袋のあり方に関する検討を実施します」などのように表記し「有料化ありき」との文言は削除すべき。	計画にあります「基本目標 2 廃棄物ゼロ（ゼロエミッション）を目指す循環型社会の推進（資源環境）」の施策の方針 1 では、「ごみを削減する」としており、ごみ袋の有料化につきましては、ごみ減量のための有効な手法のひとつであることから、今後も様々な角度からの検討が必要と考えております。表記についてのご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	無
59	有料ごみ袋制の検討が提案されているが、P67のどこにも有料化によってごみの削減に効果があるとの説明がない。私の町内ゴミステーションに出されているゴミも、4 5 Lのような大きなゴミ袋を使われる人の方が少数である。ゴミの不法投棄など困った事例もあるかとは思いますが、多くの市民はゴミの分別や減量を心がけている。「有料ゴミ袋制の検討」など必要ないと思うのでこの提案は削除してほしい。	計画にあります「基本目標 2 廃棄物ゼロ（ゼロエミッション）を目指す循環型社会の推進（資源環境）」の施策の方針 1 では、「ごみを削減する」としており、ごみ袋の有料化につきましては、ごみ減量のための有効な手法のひとつであることから、今後も様々な角度からの検討が必要と考えております。	無
60	有料ごみ袋制の検討については撤回を求めます。物価高騰のなか市民生活を圧迫することになる。		
61	P67 有料ごみ袋制の検討について、数年前に有料制はやめることになったと理解している。ゴミ収集は公共が行うものであり、そのために税金を徴収しているのではないか。		
62	ゴミ袋有料化に反対する。市民に知らせず突然の有料化は絶対反対である。		
63	ゴミ袋有料化が検討されている様だが市民には何も知らされていない。有料化に反対する。		
64	有料ごみ袋制の検討とあるが、理由が示されていない。環境保全との関係なのか、財政的なことなのか分からない。有料ゴミ袋制にメリットがあるのか不明である。デメリット面も示した上で提案された方が良い。有料ゴミ袋は二重に税金をとることになり、反対する。		
65	ごみの収集は宇治市の基本業務で自治体の予算の中でやるべきである。ゴミの減量や分別に市民として協力してきた。有料のごみ袋にすれば分別機能が弱くなる。ごみが増える。有料ごみ袋制に絶対反対である。		

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
66	ごみの収集は宇治市の基本的業務。ゴミ減量は個人でも町内会でも努力してきた。有料ゴミ袋制を導入したら分別意識が弱くなる。有料ゴミ袋制を導入したらゴミが増えることも予想される。有料ゴミ袋制は反対。以前も有料ゴミ袋について検討され撤回された。今また有料を出してくるのは何故か。有料ゴミ袋制には全体反対。	<p data-bbox="826 981 1353 1182">計画にあります「基本目標 2 廃棄物ゼロ（ゼロエミッション）を目指す循環型社会の推進（資源環境）」の施策の方針 1 では、「ごみを削減する」としており、ゴミ袋の有料化につきましては、ごみ減量のための有効な手法のひとつであることから、今後も様々な角度からの検討が必要と考えております。</p>	無
67	ごみの収集は自治体の基本的業務であり、自治体の予算でやるべき。ごみの減量のために分別回収や古紙回収などに協力してきたのが有料ゴミ袋制を導入すれば分別意識が弱まりゴミが増えることも考えられる。有料ゴミ袋制には絶対反対。		
68	ゴミ袋の有料化には以下の点で反対する。1) 一般家庭から出るゴミは市民生活をする上で必要なものであり、すべて公費（税金）で賄われるのが当然である。2) ゴミ袋の有料化は「ゴミ処理」の民営化への第一歩と考える。3) ゴミ袋が有料化されている自治体でも、「無料の方が良いが、市が指定している袋を買えば済む」という考えが多いという。4) 家庭ゴミの削減は大切だが、ゴミ袋を有料化したら家庭ゴミが減ると考えるのは浅はかだと思う。ゴミ問題を市民の知恵で解決していく学びが大事である。5) ゴミ処理の民営化（＝ゴミ袋の有料化）等は新自由主義経済政策であり、本来、公的に行われるべきものを民間企業にゆだねるのは「公（おおやけ）」の放棄である。私たちはそのために市民税を払っている。		
69	ゴミ袋有料化に反対。市民に知らせず勝手に進めないで。私たちは、ゴミの削減に努力して、分別もがんばっている。物価も上昇している昨今、困るご家庭もあり、ゴミの不法投棄が増えると思う。		
70	ゴミ袋の有料化をしないで。ゴミの種分け等による手間をはぶくために全家族に徹底しながら頑張っているのでゴミの有料化は絶対に反対。		
71	ゴミ袋の有料化は、絶対反対である。有料化すれば、不法投棄が増える。現在でも、町内のゴミ収集場所に他町内の方が通りすがりに置いていく。		
72	環境問題に配慮してゴミ削減に宇治市・市民挙げて取り組むことは当然のことだと思うが、ゴミの分別には日々努力しており取り組んでいるし、多くの市民が協力して行っている。ゴミ袋の有料化はそんな努力に逆行するのではないだろうか。物価の値上がりで日々の生活に困っている市民の負担を増やすことになり有料化は困るので反対である。行政の責任で現行どおり行ってほしい。		



No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
73	ごみ袋の有料化に反対。有料化ということは形を変えた増税。現在でも、所得に対しこれほど納めるのかと負担感が強いのに納得できない。絶対やめて。	計画にあります「基本目標 2 廃棄物ゼロ（ゼロエミッション）を目指す循環型社会の推進（資源環境）」の施策の方針 1 では、「ごみを削減する」としており、ごみ袋の有料化につきましては、ごみ減量のための有効な手法のひとつであることから、今後も様々な角度からの検討が必要と考えております。	無
74	かねてより検討されているゴミ袋有料化の件については、これまでの回収実績をふまえ、かつ、住民の環境意識醸成の観点から、有料化は必要がないと判断し、有料化の方針に反対。		
75	有料ごみ袋制の検討については、市民に新たな負担を強いることになり、反対。物価高騰の折り、従来どおりの対応を。		
76	有料ごみ袋は止めて下さい。レジ袋はもう買うことはないが、いろんな袋があり、それを利用して、ゴミを出している。有料ごみ袋になれば、その袋もみんなゴミになる。		
77	市民の努力により、ごみ袋を有料化せずとも、ごみの減量が他市より進んでいる状況である。ごみの減量、分別も宇治市ではきちんと行われている現在、ごみに関しては、地球温暖化を防ぐ役割を果たしていると思う。ごみ袋有料化になれば、袋を節約するため、市民のごみの分別などの努力意識が減退すると思う。ごみ袋有料化は地球温暖化対策に逆行する。		
78	有料ごみ袋制の検討が今でも基本施策に出されている事に不満と驚きを感じた。他の施策には数値を出して詳細に説明されているのに、有料化する事によるゴミ減のメリットが他市（導入されている）の数値による効果が出されていない。単なる有料化は市民を苦しめる。		
79	宇治に住んで50年近くになり、住環境の変化もあるが、ゴミの集積に関しては、昔と比べて地域住民も協力し、減量も含め、よくなっているように感じている。近くに折居清掃工場もあり、気をつけているところである。	いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	無

【④安全で安心な暮らしを守る生活環境の保全に関するご意見】

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
80	P81 カワセミに関して、以前は木幡池で何回も目撃したが、ここ2～3年は見かけない。木幡池の環境が悪化しているのかもしれない。また、特定外来生物のヌートリアを目撃した。ウシガエル、ミドリガメも見る。特定外来生物の駆除、水質検査とその公開、ヘドロ除却のための池のしゅんせつなどをお願いしたい。	木幡池については、定期的に水質検査を行い、結果の公表もしております。特定外来生物のヌートリアについては、市から捕獲の檻の貸し出しをしております。なお、ヘドロ等、池の清掃などについては京都府の所管になることから、いただいたご意見につきましては京都府にお伝えします。	無

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
81	近隣の田んぼでは、数年前から蛙の声がしなくなった。今でも春先にはオタマジャクシのようなものが泳いでいるが、開花時期が近づくと姿が見えなくなる。茶畑や田んぼに農薬が散布されたのだろうと想像している。TV番組で静岡の自然農法が取り上げられており、農薬の使用を控えていると害虫の天敵が現れ、農薬なしでも問題なく収穫できると言われていた。近年、世界的に不耕起無農法が叫ばれている。そろそろ宇治の農業も農薬や化学肥料のどぼ漬け農法を止めてはどうか。	「京都府みどりの食料システム基本計画」は、「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（令和4年法律第37号）」に基づき京都府農林水産ビジョンが目指す施策の方向性を踏まえ、農林漁業・食品産業の持続可能な発展と食料の安定供給の確保に向けて、国産有機質肥料への転換など輸入原料に過度に依存しない循環型農業の推進を図ることを目的に施行しています。いただいたご意見につきましては今後の参考とさせていただきます。	無

【⑤自然、文化、人が共生する豊かな都市環境の保全に関するご意見】

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
82	遊休地での太陽光パネル設置 自然災害が温暖化により頻繁化・甚大化しているおり業者による設置に法的に厳しい指導で対応を願う。景観の点でも2次被害を防ぐ為にも行政の指導が必要。	「宇治市太陽光発電設備の適正な設置に関する条例」を制定しています。今後も防災と景観・生活環境の保全を図りながら地球温暖化対策の基本方針である再生可能エネルギー利用促進を図ってまいります。	無

【⑥施策推進に際しての横断的視点に関するご意見】

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
83	これからの世代の担い手である小中学校の児童生徒に対する環境学習については宇治学で少し取り組んでいるようだが、どのようなことをしているのかよく分からない。地球温暖化や気候変動、食品ロス・プラごみなどの環境学習授業を年間1～2時間程度（体験型と講義型）取り組んでほしい。	ご意見を踏まえ、市内小中学校における環境学習に関するコラムを掲載します。(P89)	有
84	宇治市での小中学校の環境学習の取組事例を紹介してほしい。		
85	環境学習会を集会所・公民館単位で行い、参加者にはエコ・アクション・ポイントを付与することとし、開催希望を募ってはどうか。	いただいたご意見を参考に、今後も、地域における環境学習会等を行ってまいります。	無
86	計画の推進、進捗管理において、管理推進本部や環境管理や脱炭素プロジェクトの開催頻度、報告、活動内容の公表などが具体的に示されていない。	環境管理部会、環境管理委員会、脱炭素プロジェクトにつきましては、毎年度それぞれが取組の進捗管理や評価を行い、その結果について、公表することとしております。	無
87	推進体制について、地球温暖化分野でのecoット宇治や、市民・事業者の位置付けの説明文がないので、どのような役割が期待されるのかをもう少し丁寧に説明してほしい。	ご意見を踏まえ、(4)市民 環境問題や地球温暖化問題に関心を持ち、本計画における具体的な取組を実践するとともに、事業者や市との参加・協働を図ります。(5)環境に配慮した事業活動を心がけ、本計画における具体的な取組実践するとともに、市民や市との参加・協働を図ります。との記述を追加いたします。(P92)	有

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
88	京都府地球温暖化防止活動センターやecoット宇治以外の環境関連の市民団体/NPO法人や市内の事業者との連携や協働体制が弱いのではないか。	P88に記載のとおり、いずれの分野においても様々な主体との連携は重要であると考えております。市内外を問わず、様々な事業者と積極的な連携を図ってまいります。	無
89	資源環境、生活環境、環境共生の分野について、関連するNPOなどとの繋がりはどのようになっているのか、どのように推進していくのか。		
90	環境管理事務局とは何か。組織体制が具体的に示されておらず、進捗管理が出来るのか疑問である。	P92に記載のとおり、環境企画課が環境管理事務局を担っています。進捗管理については図5-2のとおりPDCAサイクルにより適切に行ってまいります。	無
91	アンケート調査は10年毎ではなく、2年毎にWEBで調査を実施し、結果を公表することが大事である。同様に、PDCAを1～2年で回して公表してほしい。	P93に記載のとおりアンケート調査については、概ね2年毎に実施することとしています。進捗管理についてはP91に記載のとおり、短期的・長期的なPDCAサイクルにより実施し、公表いたします。	無
92	P85 施策推進に際しての横断的視点に、SDGsの10・16を入れてはどうか。	SDGsの表記につきましては、主な推進施策や取組に関連付けて記載しております。	無
93	P55 エコ・アクション・ポイントの取組がコラムとして掲載されている。P88の市、市民、事業者の取組「デジタル化を推進し、新しい生活様式に対応します」の一環でもあると思うが、ぜひ、市内の公共施設にWi-Fi設置を希望する。	いただいたご意見を参考に、今後も、デジタル技術を活用した取組を進めてまいります。	無
94	P85～P87 横断的視点として「多様な主体との連携、環境教育の充実を図る」と明記されているので期待をしている。	P88に記載のとおり、いずれの分野においても様々な主体との連携は重要であると考えております。また、あらゆる年代の市民や事業者の方が学ぶ機会を提供してまいります。	無
95	市民は住み良い町にしたいとみんな思って生活している。近くで廃棄物に関連する講座や環境への配慮の学習会などやってほしい。生涯学習の場として公民館はもっとリードしてほしい。	宇治市では、廃棄物や地球温暖化対策など環境に関する学習会や講演会等を実施しています。今後は、身近な公共施設等での学習機会の提供に努めてまいります。	無

#### 【⑦其他のご意見】

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
96	P11 SDGsの9の説明文の中にレジリエントがある。P28はレジリエント（強靱）となっており、本来なら訳は先に付けるはず。	ご意見を踏まえ、用語を修正します。(P11)	有
97	P22 表2-6の達成状況は○△○ではなく、○○△ではないのか。	表2-6につきましては、記載のとおりとなります。	無

No.	ご意見の要旨	宇治市の考え方	修正
98	宇治市の地勢について、宇治のまちは歴史地理的に見て交通の要所にあり、年間を通して温暖で丘陵地域なところが多く、宇治川を中心とした扇状地が発達して生活しやすく古代の古墳や遺跡が多く残り、自然環境や生物多様性なども豊かさを持っている。また、平安時代には山紫水明、風光明媚な場所として貴族の別荘が形成され、源氏物語・宇治十帖の舞台となり、中世にはお茶が育まれた土地柄になっている。このように長い人々の暮らしの中で歴史文化が息づく重層的に形成された町まちとなっている。その記述内容について、もっと詳しく記述してほしい。このことが、第3次環境保全計画の中の、資源環境、生活環境、環境共生分野に繋がるのではないか。	ご意見のとおり、宇治市は歴史文化や豊かな自然に恵まれたまちであると考えております。宇治市の地勢につきましては、P14（3）歴史的な背景の他、P27第3章1望ましい環境像に詳しく記載しております。	無
99	アンケートから、LED照明がこの10年で20%から68%に普及したことが分かった。大型家電（冷蔵庫、テレビ、エアコン）の買替えなども調査対象にしてほしい。市民への質問が、2012年と今回で異なるので取組の進み具合がよく分からない。今後、アンケートについては対象者、年齢構成、調査内容や頻度を検討してほしい。事業者アンケートの項目は、2012年とほぼ同じ内容でよかった。	いただいたご意見につきましては、次回のアンケートの際の参考とさせていただきます。	無
100	P27「豊かな自然環境と歴史文化を守り、新たな未来を拓くまち」とあるが、『歴史・文化』ではないか。また、『拓く』は難読漢字ではないか。	「拓く」には「新たな状況を作る」、「未来のための足がかりを作る」といった意味があります。宇治市といたしましては、これまで守り続けてきた自然環境や歴史文化を守るとともに、持続可能なまちづくりに向け、新たな挑戦を行ってまいりたいと考えておりますので、「拓く」という言葉を使用しております。なお、拓くについてはふりがなを付します。	無
101	P28 マルチベネフィットを日本語に翻訳して新語を作ってほしい。	貴重なご意見として承ります。	無
102	広大な田・畑を産業用地に変えてしまうやり方は全くの逆行になり、整合性がないと考える。市民が望まない、環境を悪くするような大型事業への財政支出は止めてほしい。	本市では、人口減少が進む中、新たな雇用を創出し、定住人口の拡大に繋げるため、農業振興地域における産業立地の取組を進めています。農地を一部産業用地に転換することから、これまで以上に環境保全や農業振興の取組を進めていく必要があると考えています。	無
103	今回、年末年始の繁忙期に、宇治市第3次環境保全計画（宇治市地球温暖化対策地域推進計画含む）（初案）が出され、意見を求められたが、ほとんどの方が出されたことを知らない。宇治市は市民の声を聞くというなら、市政だよりだけでなく、自治会等に配布すれば多くの市民が知ることが出来る。今後この方法を取り入れてほしい。	パブリックコメントにつきましては、宇治市パブリックコメント手続きに関する指針運用マニュアルに基づき、実施しております。いただいたご意見につきましては今後の参考とさせていただきます。	無
104	宇治市は、太閤堤歴史公園が大幅な赤字になっていることを、真剣に反省すべき。	貴重なご意見として承ります。	無